

# 医療従事者確保に向けた『病院事業局リクルート総合サイト』の開設について

令和4年3月28日  
病院事業局

## 1 概要

- ・県民に安心・信頼・高度の医療を提供するためには、医師のみならず、様々な医療従事者の確保や育成が重要。
- ・特に近年は、多職種によるチーム医療が重視され、働き方改革を推進するためにもタスク・シフト/シェアが必要であり、医療従事者の適時適切な確保が求められている。
- ・その募集採用にあたっては、県立病院の職場としての魅力ややりがいなどを広く周知するための、より効果的な広報活動がポイントとなる。
- ・そのため、写真や動画を多用した魅力的な『病院事業局リクルート総合サイト』を開設し、効果的な情報発信をすることで医療従事者の確保を図る。

## 2 リクルート活動における課題

- ・新型コロナの影響により、就職説明会や各種ガイダンスへの参加、関係学校への訪問等の従来実施していたリクルート活動が制約されており、一部職種においては欠員が生じている。
- ・会計年度職員（約500人）の募集も各病院でハローワークを通じて実施しているが、約1割が欠員の状況。
- ・現在の採用案内は県職員全体の募集広報の一部として県ホームページに掲載しており、パンフレットなど工夫が凝らされているものの、行政職をはじめ多くの職種が掲載されていることもあり、医療従事者の情報が埋没し、学生からは病院勤務のイメージが想像できないという声も寄せられている。
- ・コロナ禍により、地方転職に目を向ける人も出てきており、これをチャンスと捉え、インターネットを活用したリクルート活動を強化する必要がある。

## 3 新設サイトイメージ

New

令和4年3月末オープン

COMING SOON

### (1) 見やすくシンプルなサイト



### (2) 20職種の医療従事者を一堂に掲載



### (3) 職種ごとにインタビュー記事を掲載し、県立病院の魅力をアピール

専門研修医

コミュニケーションを重ねて  
症状を特定し、治療法を探る

母を救ってくれた精神科の医師

自分が生まれる前、母が精神疾患を患ったという。良き精神科の医師に出会い、状態が安定した。結婚も出産も経たされた。「自分が生を受けたのはあの時の医師のおかげ」と精神医療の力を知る。医師を目指す先に早大に進み、心理学を学んだ。卒業後、山形大医学部に入り直し、精神科医師としての一歩を踏み出した。

### (4) 福利厚生の充実についてもアピール

育児への配慮

育児と仕事を両立できるよう、産前産後休暇や育児休業はもちろんのこと、育児を行う職員の通勤を免除する制度や勤務の初めと終わりの時間を調整できる「育児特等」のほか、男性職員の育児参加促進のため「育児参加特等」や「配偶者出産特等」などの制度も設けています。また、中央病院敷地内に24時間対応の院内保育所を整備しており、病児・病後児の受け入れも可能です。現在、改築整備中の新たな新庄病院においても、同様の院内保育所を開設予定です。

ワークライフバランス

わたしたちは、職員ひとりひとりの生活と仕事を大切に、みなさんが生き生きと働ける職場環境の整備に取り組んでいます。

- 年休取得日数 12.3日/年（令和3年度実績）
- 女性職員の育児休暇取得率 100%（令和2年度実績）
- 時給外労働数 13.7時間/月（令和2年度実績）

## 4 日本最大級の医療専門サイトにも医師募集サイトを開設

New

Doctor Recruit Site  
山形県病院事業局 医師採用サイト

RECRUITMENT ~募集情報~

新庄病院  
麻酔科

山形県立中央病院  
山形県立新庄病院  
山形県立河北病院  
山形県立こころの医療センター

県立病院は「県内トップの医療グループ」

山形県は、病床数による自治体病院の割合が45%（令和元年）で全国1位。自治体病院が中心となって県内医療を支えていると異なっても過言ではありません。そのような中で、「中央病院」（山形市）、「新庄病院」（新庄市）、「河北病院」（西村山郡河北町）、「こころの医療センター」（鶴岡市）という4つの県立病院は、県内トップの医療グループとして、県立病院医士はもちろん、他の医療機関との連携も強化しながら、県民に高度で良質な医療サービスを提供し続けてきました。山形県病院事業局管理者の大澤賢史氏は、県立病院の状況についてこう語ります。

山形県立中央病院  
山形県立新庄病院  
山形県立河北病院  
山形県立こころの医療センター

サイト間  
相互リンク

